

都市再生整備計画 事後評価方法書

阿見中央地区

令和6年4月

茨城県稲敷郡阿見町

目 次

(1) 成果の評価	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	6
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測	5
(2) 実施過程の評価	8
1) モニタリングの実施状況の確認	8
2) 官民連携による取組の実施状況の確認	8
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認	8
(3) 効果発現要因の整理	9
(4) 今後のまちづくり方策の作成	9
(5) 事後評価原案等の公表	9
(6) 評価委員会の審議	9
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定	9
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況	9

※ 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄（枠）を拡張するなどして記入してください。

(1) 成果の評価

1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標 1：	良好なまちづくりにより、居住世帯数の増加を図る 【従前値：5,119世帯（H30.7月末）→目標値：5,519世帯（R5.7月末）】 ◇対応する目標 目標 1：良好な住環境を提供し、住み続けたいまちを創出する。 ・地域が抱えている課題を解決し、町の基本構想である誰もが住み続けたい、住んでみたい、暮らしやすいまちづくりにより、定住人口の増加を図る。		
	A：事前評価時の『従前値』の求め方		
	①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時の実績値（平成30年7月末）	
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課		
③計測手法	・平成30年7月末における、阿見中央地区の行政区ごとの世帯数について、事業区域で面積按分した値を従前値とした。数値は阿見町住民基本台帳より調査した。		
④従前値	5,119世帯		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	令和6年7月末時点		
⑤実施主体	阿見町産業建設部都市整備課		
⑥データの計測手法	・従前値と同様の方法により把握する。令和5年7月時点で目標値を達成しているが、当時、曙地区街区公園整備事業等が完了していないため、評価値は令和6年7月末時の世帯数を評価値とする。		
⑦評価値の求め方	・令和6年7月末時点の住民基本台帳に示された世帯数をもとに事業区域で面積按分した値を評価値とする。		
⑧確定／見込みの別	●	確 定	
		見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あ り	
	●	な し	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

指標 2 :	雨水施設の整備により、3年確率までの降雨時に冠水するエリアを縮小する 【従前値：2ha（H30）→目標値：0ha（R5.7月末）】 ◇対応する目標 目標 2：災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る。 ・雨水管や調整池を整備することによって、降雨時の冠水を解消し、安全で安心なまちづくりにより地域の活性化を図る。	
A：事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時の実績値（平成30年）	
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課	
③計測手法	・平成30年までの冠水実績を地域ヒアリングや町資料から図面に落とし、面積を計測した。	
④従前値	2ha	
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期	令和6年7月末時点	
⑤実施主体	阿見町産業建設部都市整備課	
⑥データの計測手法	・梅雨時期（令和6年7月末時点）における、実地調査により冠水の有無を把握する。	
⑦評価値の求め方	・令和6年7月末の梅雨の時期において、実地調査により冠水の有無を把握し、冠水していない場合、評価値を0haとする。なお、調整池は令和4年度に整備が完了しているが、水路の改修完了が令和5年度末であることから、令和6年梅雨期の被害状況の有無を確認するため、令和6年7月に計測を行うこととする。	
⑧確定／見込みの別	☒	確 定 見 込 み
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性	☐	あ り
	☒	な し
⑩計測時期	—	
⑪実施主体	—	
⑫計測手法	—	

指標3：	新たに整備する公園（曙ふれあい公園）において、住民主体の持続的な取り組み等により、公園利用者の増加を図る 【従前値：0人（H30年）→目標値：8,580人（R5年7月末）】 ◇対応する目標 目標1：良好な住環境を提供し、住み続けたいまちを創出する。 ・地域のニーズにあった公園整備や、住民主体のイベントなどを継続的に実施し、愛着の持たれる公園づくりによって、良好な住環境の形成に寄与する。		
	A：事前評価時の『従前値』の求め方		
	①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時の実績値（平成30年）	
	②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課	
③計測手法	・平成30年の時点では、曙ふれあい公園は整備していないため、0人とする。		
④従前値	0人		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	令和6年7月中旬及び9月中旬時点		
⑤実施主体	阿見町産業建設部都市整備課		
⑥データの計測手法	・7月中旬の平日と9月の中旬の休日10～18時の間で利用者数（入園者数）を、実地調査にて計測する。		
⑦評価値の求め方	・実地調査にて計測した平日と休日の利用者数を用いて、年間利用者数を算出する。 評価値（年間利用者数） ＝ {（平日の利用者数×5日）＋（休日の利用者数×2日）} ×52週/年		
⑧確定／見込みの別	●	確定	
		見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あり	
	●	なし	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

指標 4：	居住誘導区域内における世帯数 【従前値：5,119世帯（H30.7月末）→目標値：5,519世帯（R5.7月）】 ◇対応する目標 目標2：災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る。 ・防災指針及び災害リスクをふまえ居住誘導を支援し、居住誘導区域内の世帯数が増加する。		
	A：事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点	都市再生整備計画作成時の実績値（平成30年7月末）		
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課		
③計測手法	・平成30年7月末における阿見町中央地区の行政区ごとの世帯数を事業区域で面積按分した値を従前値とした。数値は阿見町住民基本台帳より調査した。		
④従前値	5,119世帯		
B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	令和6年7月末時点		
⑤実施主体	阿見町産業建設部都市整備課		
⑥データの計測手法	・従前値と同様の方法により把握する。令和5年7月時点で目標値を達成しているが、当時、曙地区街区公園整備事業等が完了していないため、評価値は令和6年7月末時の世帯数を評価値とする。		
⑦評価値の求め方	・令和6年度7月末時点住民基本台帳をもとに事業区域で面積按分した値を評価値とする。		
⑧確定／見込みの別	●	確 定	
		見込み	
C：フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あ り	
	●	な し	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

(1) 成果の評価			
2) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標) による効果発現の計測			
数値指標 1	地区の安全・安心の変化		
記述理由	当地区のまちづくり目標のうち、「災害に強いまちづくりにより、中心市街地の活性化を図る」に対する事業の効果を多角的に検証するため、地区住民等にアンケート調査を実施し、指標「冠水エリア面積の縮小 (1/3降雨量) を補完する「その他の数値指標」として設定した。		
A : 事前評価時の『従前値』の求め方			
①従前値の基準時点	—		
②実施主体	—		
③計測手法	—		
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方			
④計測時期	令和6年8月		
⑤実施主体	阿見町産業建設部都市整備課		
⑥データの計測手法	「阿見中央地区の整備効果に関するアンケート」 (令和6年8月実施) により、事業実施による地区の安全・安心の変化を調査する。		
⑦評価値の求め方	同上アンケート設問1の問1~4 (防災、災害時、夜間歩行時安全性の変化) に対し、「良くなっている」、「若干良くなっている」と答えた人の合計の割合を計測する。		
⑧確定／見込みの別	●	確 定	
		見込み	
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方			
⑨フォローアップの必要性		あ り	
	●	な し	
⑩計測時期	—		
⑪実施主体	—		
⑫計測手法	—		

(1) 成果の評価		
2) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標) による効果発現の計測		
数値指標 2	地区の住環境向上による満足度	
記述理由	当地区のまちづくり目標のうち、「良好な住環境を提供し、住み続けたいまちを創出」に対する事業の効果を多角的に検証するため、地区住民等に向けたアンケート調査を実施し、指標「公園利用者の増加」を補完する「その他の数値指標」として設定した。	
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
①従前値の基準時点	—	
②実施主体	—	
③計測手法	—	
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
④計測時期	令和6年8月	
⑤実施主体	阿見町産業建設部都市整備課	
⑥データの計測手法	「阿見中央地区の整備効果に関するアンケート」(令和6年8月実施)により、事業実施による地区の住環境向上による満足度を調査する。	
⑦評価値の求め方	同上アンケート設問2の間1~4(居住環境、まちの防災性、コミュニケーションのしやすさ、住みやすさ・豊かさ)に対し、「満足」、「概ね満足」と答えた人の合計の割合を計測する。	
⑧確定／見込みの別	●	確 定
		見込み
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
⑨フォローアップの必要性		あ り
	●	な し
⑩計測時期	—	
⑪実施主体	—	
⑫計測手法	—	

(2) 実施過程の評価	
1) モニタリングの実施状況の確認	
A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況	
	☐ ア 都市再生整備計画に実施することを記載した ☒ イ 都市再生整備計画に記載しなかった ☐ ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した
B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)	
	なし
C : 事後評価時の確認方法	
①時 期	—
②確 認 先	—
③確認方法	—
2) 官民連携による取組の実施状況の確認	
A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況	
	☒ ア 都市再生整備計画に実施することを記載した ☐ イ 都市再生整備計画に記載しなかった ☐ ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した
B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)	
	公園整備にあたり、地域住民との協働によるワークショップを開催し、地域ニーズを公園計画に反映するとともに、公園整備後の管理方法について調整を行った。
C : 事後評価時の確認方法	
①対 象	公園ワークショップ
②時 期	令和6年4月
③確 認 先	阿見町産業建設部都市整備課
④確認方法	公園ワークショップに関する開催資料及び開催報告書(一部)により確認
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認	
A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況	
	☐ ア 都市再生整備計画に実施することを記載した ☒ イ 都市再生整備計画に記載しなかった ☐ ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した
B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)	
	なし
C : 事後評価時の確認方法	
①対 象	—
②時 期	—
③確 認 先	—
④確認方法	—

（３）効果発現要因の整理

①時 期	令和6年10月
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課
③検討体制	阿見町産業建設部都市整備課が主管となり、事業効果の確認、事業効果の発現要因の整理を行う。

（４）今後のまちづくり方策の作成

①時 期	令和6年10月
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課
③検討体制	阿見町産業建設部都市整備課が主管となり、今後の方針案等を取りまとめ、事後評価原案の作成を行う。

（５）事後評価原案等の公表

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	令和6年10月18日～11月1日	令和7年1月
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課	阿見町産業建設部都市整備課
③公表方法	広報あみにより周知し、パブリックコメントやホームページでの掲載により、公表する。公表期間は2週間を予定。	広報あみにより周知し、パブリックコメントやホームページでの掲載により、公表する。公表期間は令和7年1月から1年間を予定。

（６）評価委員会の審議

①時 期	令和6年11月18日
②実施主体	阿見町産業建設部都市整備課
③設置・運用方法	阿見町都市再生整備計画事業評価委員会要綱に基づき、都市計画及び社会資本整備に関する有識者、阿見町議会議長及び阿見町議会産業建設常任委員会委員長からなる事後評価委員会を開催し、審議を行う。

（７）その他の機会における有識者からの意見聴取の予定

①聴取方法	なし
-------	----

※（３）～（６）の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

（８）事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況

①予算措置の状況	☐ ア 費用は発生しない ☒ イ 費用は発生するが、予算措置を講じている ☐ ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない ☐ エ その他（ ）
----------	--

都道府県名	茨城県
市町村名	稲敷郡阿見町
地区名	阿見中央地区
計画期間	令和元年度～令和6年度
作成者	部署 阿見町産業建設部都市整備課
	役職 主事
	氏名 小林 寛
連絡先	T E L 029-888-1111 内線 248
	F A X 029-887-9560
	E-mail toshiseibika@town.ami.lg.jp